

2025年度

賞金
100
万円

DXソリューションで、
高速道路と
あなたのビジネスが
加速する。

高速道路DX

Highway DX Acceleration Program

アクセラレーション
プログラム

ソリューション部門

アイデア部門

募集期間

2025年9月24日(水)～
2026年2月15日(日)



開催趣旨

高速道路事業を取り巻く環境は、老朽化するインフラ、自然災害の激甚化、労働力不足、そして多様化するお客さまニーズなど、様々な課題に直面しています。

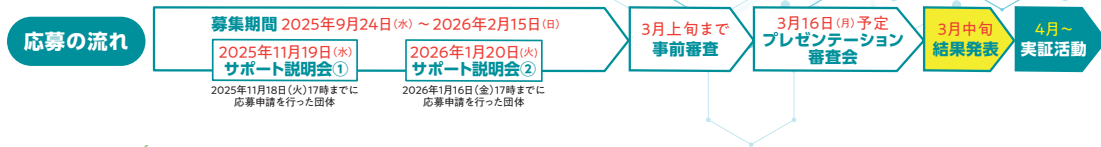
こうした中、デジタル技術や先端技術を積極的に活用し、インフラ維持管理の効率化・サービス向上・災害対応力の強化を図る「DX(デジタルトランスフォーメーション)」の推進が不可欠です。

このような背景を踏まえて、イノベーション交流会は、高速道路保全事業が抱える課題を捉え、将来の課題を解決すべく、従来の枠組みを超えた新しい高速道路保全管理やお客さまへのサービスの改革をオープンイノベーションで推進しています。

本企画では、スタートアップやベンチャー企業、大学など様々な分野の団体が保有する革新的な技術やアイデアを取り入れ、高速道路事業のDXを加速させるための枠組みとして「2025年度高速道路DXアクセラレーションプログラム」を開催します。

募集期間 2025年9月24日(水)~2026年2月15日(日)

応募の流れ



募集部門 (作品形態により区分)

ソリューション部門

募集テーマに合致し、技術(画像解析、遠隔モニタリング、ロボティクス技術など)またはアプリケーションを用いたソリューションを募集するもの。

アイデア部門

募集テーマに合致し、技術化やアプリケーション化される前の構想段階のアイデアを募集するもの。

募集テーマ

① 特定テーマ

WEB サイトから各テーマの現状オペレーションイメージ動画をご確認いただけます

A 危機管理DX

背景:地震・台風・集中豪雨などの自然災害の激甚化・頻発化により、高速道路上でも土砂流出や路面冠水、斜面崩壊などの被害が発生。

課題:災害時の迅速な情報収集・共有・対応体制の高度化が急務。デジタル技術を活用した組織横断的な危機管理の強化が求められる。



D 維持管理サイクルDX

背景:道路構造物の老朽化が進行し、目視・人手による点検・補修だけでは、作業効率や品質維持に限界。また、保全記録の大半が紙ベースで管理され、情報活用が不十分。

課題:点検から診断、補修、記録まで、全プロセスをデジタル化・自動化し、戦略的な予防保全に転換する必要がある。



B お客さまサービスDX

背景:高速道路の利用目的や利用者層の多様化。

課題:一律的な情報提供だけでなく、リアルタイムの交通情報提供、多言語対応、サービスエリアの快適性向上など、デジタルを活用したきめ細かなサービス拡充が求められる。

C 料金所オペレーションDX

背景:これまでの各料金所での係員対応から、料金所の省人化・集約化を促進。拠点集約型の遠隔による料金所運営へ転換中。

課題:省人化と、不正通行防止や機器不良などのトラブル対応の両立が必要。新たな集約管理の手法や先端技術の導入による生産性向上が求められる。

E インフラメンテナンスDX

背景:維持管理の現場での労働力不足や安全確保の課題が深刻化。

課題:危険箇所での作業負担軽減と、サービスレベルの維持・向上の両立には、機械と人の融合が不可欠。また、作業頻度やコストをデータに基づき可視化・最適化する仕組みも求められる。



② 自由テーマ

高速道路事業運営の高度化や高速道路の利用促進につながるものを募集します。

主催者からの情報提供

ソリューション部門・アイデア部門の応募作品を制作する際に、イノベーション交流会が保有するデータを用いることで、より具体的な作品を制作することができます。なお、その他のデータとして、他団体などのオープンデータや、応募者の独自データなどの一般公開されていないデータを組み合わせることも可能です。提供するデータの利用に際しては、「2025年度 高速道路DX アクセラレーションプログラム提供データ利用規約」を遵守するものとします。提供するデータは、申請受付メールに添付されているURLから応募者専用サイトにアクセスし、データを取得することができます。

イノベーション交流会保有の提供データ

- ・路線データ(路線概要、交通量など)
- ・渋滞データ(過去に発生した渋滞など)
- ・工事規制データ(過去に実施した規制(数日分))
- ・休憩施設データ(休憩施設概要、利用者数、トイレ利用者数など)
- ・構造物データ(トンネル、橋梁、切土など)

表彰賞金



① ソリューション部門

最優秀賞(1作品) 100万円+副賞

優秀賞(数作品) 20万円+副賞

※賞金は当該法人名義の指定口座へのお振込とさせていただきます。 ※審査の結果、入賞該当作品なし、となる場合があります。

② アイデア部門

最優秀賞(1作品) 20万円+副賞

優秀賞(数作品) 5万円+副賞

※各賞の副賞として、イノベーション交流会の会員費(初年度分)を免除します。

過去受賞作品の活動紹介

2022年度受賞!

イノベーション交流会内で活動

企画部会内で実証計画を立案

実証部会内で現場実証を実施

2024年度

共同研究締結を行い実用アプリ制作を実施

2025年度

現場にて試行検証を実施

